

# 平成 30 年度 病院事業決算状況

都道府県名 山口県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	県立総合医療センター	2
-	県立こころの医療センター	3
下関市	中央病院	4
下関市	豊浦病院	5
下関市	豊田中央病院	6
萩市	市民病院	7
岩国市	岩国市立錦中央病院	8
岩国市	岩国市立美和病院	9
光市	光市立光総合病院	10
光市	光市立大和総合病院	11
美祢市	市立病院	12
美祢市	美東病院	13
周南市	市民病院	14
山陽小野田市	山陽小野田市民病院	15
周防大島町	周防大島町立東和病院	16
周防大島町	周防大島町立橘病院	17
周防大島町	周防大島町立大島病院	18

<b>病院事業決算状況</b> <b>(30年度)</b>		都道府県名	山口県
		市町村・組合名	
		病院名	県立総合医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,404,729	
決算規模(千円)	601,629,632	
標準財政規模(千円)	372,293,806	
財政力指数	0.45440	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	206.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,700			
1 経常収益	13,700			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	13,700			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,700			
2 経常費用	13,700			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	49.8
材料費	-	-	24.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.8
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	20.7
(うち委託料)	-	-	11.3	11.4
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	13,700			
(うち支払利息)	13,700	-	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	99.5
医業収支比率	-		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	90.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資金不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度 )</b>		都道府県名	山口県
		市町村・組合名	
		病院名	県立こころの医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30 年度	29 年度	28 年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,404,729	
決算規模(千円)	601,629,632	
標準財政規模(千円)	372,293,806	
財政力指数	0.45440	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	206.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	20,933			
1 経常収益	20,933			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	20,933			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,933			
2 経常費用	20,933			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	96.0
材料費	-	-	24.1	8.6
(うち薬品費)	-	-	12.6	6.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	1.0
減価償却費	-	-	9.2	12.5
経費	-	-	23.2	34.0
(うち委託料)	-	-	11.3	16.5
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	20,933			
(うち支払利息)	20,933	-	1.6	3.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	100.0
医業収支比率	-		88.3	65.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	34.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	33.9
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	66.0

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30 年度	-	-
29 年度	-	-
28 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度 )		都道府県名	山口県
		市町村・組合名	下関市
		病院名	中央病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30 年度	29 年度	28 年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	268,517	
決算規模(千円)	114,129,822	
標準財政規模(千円)	65,666,505	
財政力指数	0.55	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	89.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,423			
1 経常収益	3,423			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	3,423			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,423			
2 経常費用	3,423			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	54.1
材料費	-	-	24.1	26.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.3
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	19.0
(うち委託料)	-	-	11.3	9.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	3,423			
(うち支払利息)	3,423	-	1.6	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	99.3
医業収支比率	-		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	89.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30 年度	-	-
29 年度	-	-
28 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	192.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	山口県
	市町村・組合名	下関市
	病院名	豊浦病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	268,517	
決算規模(千円)	114,129,822	
標準財政規模(千円)	65,666,505	
財政力指数	0.55	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	89.4

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上~300床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,079			
1 経常収益	2,605			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	2,605			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	2,605			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	18,474			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,961			
2 経常費用	3,961			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	59.3
材料費	-	-	24.1	19.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減価償却費	-	-	9.2	10.3
経費	-	-	23.2	27.6
(うち委託料)	-	-	11.3	12.3
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	3,961			
(うち支払利息)	3,961	-	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-1,356			
純損益	17,118			
累積欠損金	66,525			
経常収支比率	65.8		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	12.4		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	-		86.0	83.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,627	2,605
資本勘定繰入	32,909	21,004
計	35,536	23,609

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	192.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	山口県
	市町村・組合名	下関市
	病院名	豊田中央病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	4,773 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救
診療科数	8	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	60	71.4	62.0	61.9
療養	11	-	54.7	54.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	71	60.4	59.4	59.0
平均在院日数(一般病床のみ)		19.1	19.2	15.8

設立団体の状況		
人口(人)	268,517	
決算規模(千円)	114,129,822	
標準財政規模(千円)	65,666,505	
財政力指数	0.55	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	89.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	969,870			
1 経常収益	969,731			
(1) 医業収益	752,077			
入院収益	416,817			
外来収益	237,111			
診療収入計	653,928			
その他医業収益	98,149			
(うち他会計負担金)	49,952			
(2) 医業外収益	217,654			
(うち国・都道府県補助金)	14,122			
(うち他会計補助・負担金)	159,566			
(うち長期前受金戻入)	42,273			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	139			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,091,023			
2 経常費用	1,090,924			
(1) 医業費用	1,059,608			
職員給与費	649,449	86.4	56.0	71.8
材料費	98,729	13.1	24.1	16.5
(うち薬品費)	66,027	8.8	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,404	4.2	11.1	5.6
減価償却費	90,278	12.0	9.2	12.2
経費	211,333	28.1	23.2	31.2
(うち委託料)	136,941	18.2	11.3	12.3
研究研修費	8,598			
資産減耗費	1,221			
(2) 医業外費用	31,316			
(うち支払利息)	7,597	1.0	1.6	1.9
(3) 特別損失	99			
損益				
経常損益	-121,193			
純損益	-121,153			
累積欠損金	1,382,105			
経常収支比率	88.9		98.2	97.1
医業収支比率	71.0		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	21.6		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	27.9		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	21.6		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	69.7		86.0	74.9

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,621,246
1 固定資産	1,443,817
(1) 有形固定資産	1,443,696
(2) 無形固定資産	121
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	177,429
(1) 現金及び預金	39,832
(2) 未収金及び未収収益	130,200
(3) 貸倒引当金( )	66
(4) 貯蔵品	7,463
3 繰延資産	-
負債合計	1,211,989
1 固定負債	814,907
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	541,465
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	273,442
(7) リース債務	-
2 流動負債	204,579
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	113,124
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	39,685
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	51,412
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	192,503
(1) 長期前受金	744,190
(2) 長期前受金収益化累計額( )	551,687
資本合計	409,257
1 資本金	1,849,419
2 剰余金	-1,440,162
(1) 資本剰余金	8,468
(2) 利益剰余金	-1,448,630
負債・資本合計	1,621,246
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	66.3
修正医業収支金額(千円)	702,125

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	209,518	209,518
資本勘定繰入	38,267	38,267
計	247,785	247,785

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	192.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度)	都道府県名	山口県
	市町村・組合名	萩市
	病院名	市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	100	75.9	77.3	82.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	75.9	77.3	82.5
平均在院日数（一般病床のみ）		11.6	12.1	12.2

設立団体の状況		
人口（人）	49,560	
決算規模（千円）	28,350,885	
標準財政規模（千円）	17,656,742	
財政力指数	0.32	
経常収支比率（%）	94.5	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.1
	将来負担比率（%）	-

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	9,722 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救へ輪
診療科数	10	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上～200床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	78.2
修正医業収支金額（千円）	1,990,201

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,497,750			
1 経常収益	2,497,750			
(1) 医業収益	2,096,859			
入院収益	1,307,692			
外来収益	526,427			
診療収入計	1,834,119			
その他医業収益	262,740			
(うち他会計負担金)	106,658			
(2) 医業外収益	400,891			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	367,255			
(うち長期前受金戻入)	5,696			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,665,104			
2 経常費用	2,665,104			
(1) 医業費用	2,543,654			
職員給与費	1,397,432	66.6	56.0	61.8
材料費	442,670	21.1	24.1	17.7
(うち薬品費)	167,958	8.0	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	273,541	13.0	11.1	8.2
減価償却費	179,545	8.6	9.2	10.4
経費	515,858	24.6	23.2	29.9
(うち委託料)	349,717	16.7	11.3	12.9
研究研修費	6,510			
資産減耗費	1,639			
(2) 医業外費用	121,450			
(うち支払利息)	48,463	2.3	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-167,354			
純損益	-167,354			
累積欠損金	731,364			
経常収支比率	93.7		98.2	96.7
医業収支比率	82.4		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	19.0		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	22.6		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	19.0		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	75.9		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	3,808,664
1 固定資産	2,690,026
(1) 有形固定資産	2,603,477
(2) 無形固定資産	734
(3) 投資その他の資産	85,815
2 流動資産	1,118,638
(1) 現金及び預金	600,189
(2) 未収金及び未収収益	509,594
(3) 貸倒引当金（ ）	4,437
(4) 貯蔵品	13,292
3 繰延資産	-
負債合計	3,555,209
1 固定負債	2,967,967
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,460,287
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	507,680
(7) リース債務	-
2 流動負債	497,802
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	265,337
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	85,607
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	145,839
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	89,440
(1) 長期前受金	246,412
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	156,972
資本合計	253,455
1 資本金	770,908
2 剰余金	-517,453
(1) 資本剰余金	213,911
(2) 利益剰余金	-731,364
負債・資本合計	3,808,664
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	473,913	473,913
資本勘定繰入	174,236	109,144
計	648,149	583,057

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	34.9
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度)	都道府県名	山口県
	市町村・組合名	岩国市
	病院名	岩国市立錦中央病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	58	71.7	75.2	75.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	58	71.7	75.2	75.0
平均在院日数（一般病床のみ）		32.5	30.1	25.6

設立団体の状況		
人口（人）	136,757	
決算規模（千円）	81,069,456	
標準財政規模（千円）	35,622,159	
財政力指数	0.58	
経常収支比率（%）	92.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	5.1
	将来負担比率（%）	4.3

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,974 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救
診療科数	8	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	75.2
修正医業収支金額（千円）	576,569

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	751,134			
1 経常収益	751,134			
(1) 医業収益	626,439			
入院収益	278,235			
外来収益	282,024			
診療収入計	560,259			
その他医業収益	66,180			
(うち他会計負担金)	49,870			
(2) 医業外収益	124,695			
(うち国・都道府県補助金)	3,657			
(うち他会計補助・負担金)	105,731			
(うち長期前受金戻入)	13,020			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	795,371			
2 経常費用	795,371			
(1) 医業費用	767,104			
職員給与費	387,567	61.9	56.0	71.8
材料費	200,864	32.1	24.1	16.5
(うち薬品費)	149,216	23.8	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	42,969	6.9	11.1	5.6
減価償却費	35,192	5.6	9.2	12.2
経費	142,378	22.7	23.2	31.2
(うち委託料)	66,349	10.6	11.3	12.3
研究研修費	977			
資産減耗費	126			
(2) 医業外費用	28,267			
(うち支払利息)	225	-	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-44,237			
純損益	-44,237			
累積欠損金	188,888			
経常収支比率	94.4		98.2	97.1
医業収支比率	81.7		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	20.7		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	24.8		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	20.7		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	74.9		86.0	74.9

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	1,742,948
1 固定資産	731,597
(1) 有形固定資産	731,597
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,011,351
(1) 現金及び預金	604,352
(2) 未収金及び未収収益	402,333
(3) 貸倒引当金（ ）	3,679
(4) 貯蔵品	8,345
3 繰延資産	-
負債合計	295,294
1 固定負債	41,689
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,930
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	16,022
(7) リース債務	1,737
2 流動負債	139,019
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,716
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	44,861
(6) リース債務	1,256
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	77,565
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	114,586
(1) 長期前受金	322,403
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	207,817
資本合計	1,447,654
1 資本金	1,297,780
2 剰余金	149,874
(1) 資本金剰余金	295,112
(2) 利益剰余金	-145,238
負債・資本合計	1,742,948
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	155,601	155,601
資本勘定繰入	9,648	9,648
計	165,249	165,249

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	15.1
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度)	都道府県名	山口県
	市町村・組合名	岩国市
	病院名	岩国市立美和病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,968 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨
診療科数	6	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	60	46.9	64.3	64.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	46.9	64.3	64.8
平均在院日数（一般病床のみ）		29.4	35.2	38.8

設立団体の状況		
人口（人）	136,757	
決算規模（千円）	81,069,456	
標準財政規模（千円）	35,622,159	
財政力指数	0.58	
経常収支比率（%）	92.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	5.1
	将来負担比率（%）	4.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	66.1
修正医業収支金額（千円）	453,358

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	610,942			
1 経常収益	610,942			
(1) 医業収益	494,743			
入院収益	210,270			
外来収益	217,462			
診療収入計	427,732			
その他医業収益	67,011			
(うち他会計負担金)	41,385			
(2) 医業外収益	116,199			
(うち国・都道府県補助金)	2,194			
(うち他会計補助・負担金)	97,686			
(うち長期前受金戻入)	13,535			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	716,318			
2 経常費用	716,318			
(1) 医業費用	685,852			
職員給与費	362,657	73.3	56.0	71.8
材料費	169,345	34.2	24.1	16.5
(うち薬品費)	127,910	25.9	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	33,933	6.9	11.1	5.6
減価償却費	28,426	5.7	9.2	12.2
経費	123,565	25.0	23.2	31.2
(うち委託料)	60,599	12.2	11.3	12.3
研究研修費	1,355			
資産減耗費	504			
(2) 医業外費用	30,466			
(うち支払利息)	322	0.1	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-105,376			
純損益	-105,376			
累積欠損金	-			
経常収支比率	85.3		98.2	97.1
医業収支比率	72.1		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	22.8		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	28.1		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	22.8		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	65.9		86.0	74.9

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	1,742,948
1 固定資産	731,597
(1) 有形固定資産	731,597
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,011,351
(1) 現金及び預金	604,352
(2) 未収金及び未収収益	402,333
(3) 貸倒引当金（ ）	3,679
(4) 貯蔵品	8,345
3 繰延資産	-
負債合計	295,294
1 固定負債	41,689
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,930
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	16,022
(7) リース債務	1,737
2 流動負債	139,019
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,716
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	44,861
(6) リース債務	1,256
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	77,565
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	114,586
(1) 長期前受金	322,403
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	207,817
資本合計	1,447,654
1 資本金	1,297,780
2 剰余金	149,874
(1) 資本金剰余金	295,112
(2) 利益剰余金	-145,238
負債・資本合計	1,742,948
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	139,071	139,071
資本勘定繰入	13,441	13,441
計	152,512	152,512

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	15.1
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	山口県
				市町村・組合名	光市
				病院名	光市立光総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	11,752 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救へ輪		
診療科数	15	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	210	62.3	64.0	65.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	210	62.3	64.0	65.2
平均在院日数(一般病床のみ)		15.3	15.5	15.8

設立団体の状況		
人口(人)	51,369	
決算規模(千円)	22,411,868	
標準財政規模(千円)	12,646,722	
財政力指数	0.68	
経常収支比率(%)	95.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	66.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.9
修正医業収支金額(千円)	3,190,635

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,559,461			
1 経常収益	3,559,461			
(1) 医業収益	3,329,504			
入院収益	2,069,431			
外来収益	1,072,626			
診療収入計	3,142,057			
その他医業収益	187,447			
(うち他会計負担金)	138,869			
(2) 医業外収益	229,957			
(うち国・都道府県補助金)	1,092			
(うち他会計補助・負担金)	107,772			
(うち長期前受金戻入)	104,608			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,671,682			
2 経常費用	3,671,336			
(1) 医業費用	3,549,262			
職員給与費	1,959,495	58.9	56.0	59.3
材料費	680,681	20.4	24.1	19.3
(うち薬品費)	355,339	10.7	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	325,342	9.8	11.1	9.2
減価償却費	201,707	6.1	9.2	10.3
経費	697,597	21.0	23.2	27.6
(うち委託料)	373,057	11.2	11.3	12.3
研究研修費	8,712			
資産減耗費	1,070			
(2) 医業外費用	122,074			
(うち支払利息)	15,930	0.5	1.6	1.7
(3) 特別損失	346			
損益				
経常損益	-111,875			
純損益	-112,221			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.0		98.2	96.7
医業収支比率	93.8		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	6.9		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	7.4		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	6.9		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	90.2		86.0	83.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	20,843,932
1 固定資産	14,789,059
(1) 有形固定資産	14,153,329
(2) 無形固定資産	1,937
(3) 投資その他の資産	633,793
2 流動資産	6,054,873
(1) 現金及び預金	5,147,204
(2) 未収金及び未収収益	891,161
(3) 貸倒引当金( )	15,743
(4) 貯蔵品	32,251
3 繰延資産	-
負債合計	13,096,715
1 固定負債	9,863,064
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,125,833
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,737,231
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,093,949
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	336,299
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	214,431
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,510,456
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,139,702
(1) 長期前受金	4,765,434
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,625,732
資本合計	7,747,217
1 資本金	6,349,826
2 剰余金	1,397,391
(1) 資本金剰余金	1,529,281
(2) 利益剰余金	-131,890
負債・資本合計	20,843,932
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	246,641	246,641
資本勘定繰入	1,654,833	1,654,833
計	1,901,474	1,901,474

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	山口県
				市町村・組合名	光市
				病院名	光市立大和総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,464 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救		
診療科数	18	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	40	76.8	81.3	81.5
療養	203	99.6	99.9	99.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	243	95.9	96.9	96.4
平均在院日数(一般病床のみ)		16.1	16.3	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	51,369	
決算規模(千円)	22,411,868	
標準財政規模(千円)	12,646,722	
財政力指数	0.68	
経常収支比率(%)	95.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	66.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	95.0
修正医業収支金額(千円)	2,162,181

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,425,481			
1 経常収益	2,425,424			
(1) 医業収益	2,210,512			
入院収益	1,843,694			
外来収益	185,577			
診療収入計	2,029,271			
その他医業収益	181,241			
(うち他会計負担金)	48,331			
(2) 医業外収益	214,912			
(うち国・都道府県補助金)	6,906			
(うち他会計補助・負担金)	94,885			
(うち長期前受金戻入)	95,594			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	57			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,348,103			
2 経常費用	2,347,376			
(1) 医業費用	2,276,707			
職員給与費	1,514,953	68.5	56.0	59.3
材料費	175,293	7.9	24.1	19.3
(うち薬品費)	92,643	4.2	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	82,650	3.7	11.1	9.2
減価償却費	178,173	8.1	9.2	10.3
経費	399,050	18.1	23.2	27.6
(うち委託料)	231,730	10.5	11.3	12.3
研究研修費	6,073			
資産減耗費	3,165			
(2) 医業外費用	70,669			
(うち支払利息)	26,510	1.2	1.6	1.7
(3) 特別損失	727			
損益				
経常損益	78,048			
純損益	77,378			
累積欠損金	2,257,689			
経常収支比率	103.3		98.2	96.7
医業収支比率	97.1		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	5.9		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	6.5		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	5.9		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	97.2		86.0	83.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	20,843,932
1 固定資産	14,789,059
(1) 有形固定資産	14,153,329
(2) 無形固定資産	1,937
(3) 投資その他の資産	633,793
2 流動資産	6,054,873
(1) 現金及び預金	5,147,204
(2) 未収金及び未収収益	891,161
(3) 貸倒引当金( )	15,743
(4) 貯蔵品	32,251
3 繰延資産	-
負債合計	13,096,715
1 固定負債	9,863,064
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,125,833
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,737,231
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,093,949
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	336,299
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	214,431
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,510,456
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,139,702
(1) 長期前受金	4,765,434
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,625,732
資本合計	7,747,217
1 資本金	6,349,826
2 剰余金	1,397,391
(1) 資本剰余金	1,529,281
(2) 利益剰余金	-131,890
負債・資本合計	20,843,932
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	139,687	143,216
資本勘定繰入	117,196	117,196
計	256,883	260,412

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	山口県
	市町村・組合名	美祢市
	病院名	市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	8,950 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	12	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	89	67.4	72.7	66.9
療養	49	91.3	96.8	95.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	138	75.8	80.9	76.7
平均在院日数(一般病床のみ)		25.5	26.5	28.7

設立団体の状況		
人口(人)	26,159	
決算規模(千円)	16,283,518	
標準財政規模(千円)	9,667,438	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	96.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.9
	将来負担比率(%)	29.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.9
修正医業収支金額(千円)	1,488,821

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,307,019			
1 経常収益	2,307,019			
(1) 医業収益	1,585,124			
入院収益	984,861			
外来収益	427,599			
診療収入計	1,412,460			
その他医業収益	172,664			
(うち他会計負担金)	96,303			
(2) 医業外収益	721,895			
(うち国・都道府県補助金)	737			
(うち他会計補助・負担金)	212,737			
(うち長期前受金戻入)	93,401			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,490,037			
2 経常費用	2,489,373			
(1) 医業費用	1,962,498			
職員給与費	1,086,999	68.6	56.0	61.8
材料費	246,356	15.5	24.1	17.7
(うち薬品費)	154,323	9.7	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	92,033	5.8	11.1	8.2
減価償却費	153,568	9.7	9.2	10.4
経費	468,379	29.5	23.2	29.9
(うち委託料)	231,013	14.6	11.3	12.9
研究研修費	5,627			
資産減耗費	1,569			
(2) 医業外費用	526,875			
(うち支払利息)	10,123	0.6	1.6	1.7
(3) 特別損失	664			
損益				
経常損益	-182,354			
純損益	-183,018			
累積欠損金	300,816			
経常収支比率	92.7		98.2	96.7
医業収支比率	80.8		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	13.4		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	19.5		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	13.4		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	80.3		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,505,006
1 固定資産	4,544,012
(1) 有形固定資産	4,505,938
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	38,074
2 流動資産	960,994
(1) 現金及び預金	514,690
(2) 未収金及び未収収益	428,177
(3) 貸倒引当金( )	637
(4) 貯蔵品	18,764
3 繰延資産	-
負債合計	5,407,456
1 固定負債	3,330,854
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,393,720
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	937,134
(7) リース債務	-
2 流動負債	739,162
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	319,682
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	133,646
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	284,748
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,337,440
(1) 長期前受金	4,439,150
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,101,710
資本合計	97,550
1 資本金	841,687
2 剰余金	-744,137
(1) 資本金剰余金	122,797
(2) 利益剰余金	-866,934
負債・資本合計	5,505,006
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	301,921	309,040
資本勘定繰入	106,608	158,353
計	408,529	467,393

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度 )	都道府県名	山口県
	市町村・組合名	美祢市
	病院名	美東病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	6,840 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救
診療科数	8	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30 年度	29 年度	28 年度
一般	60	78.7	77.5	80.5
療養	40	78.1	82.0	85.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	78.5	79.3	82.6
平均在院日数(一般病床のみ)		22.5	20.3	19.9

設立団体の状況		
人口(人)	26,159	
決算規模(千円)	16,283,518	
標準財政規模(千円)	9,667,438	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	96.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.9
	将来負担比率(%)	29.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.4
修正医業収支金額(千円)	938,705

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,331,169			
1 経常収益	1,331,169			
(1) 医業収益	1,021,146			
入院収益	695,243			
外来収益	192,529			
診療収入計	887,772			
その他医業収益	133,374			
(うち他会計負担金)	82,441			
(2) 医業外収益	310,023			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	240,548			
(うち長期前受金戻入)	65,949			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,349,816			
2 経常費用	1,349,816			
(1) 医業費用	1,279,247			
職員給与費	715,273	70.0	56.0	61.8
材料費	102,027	10.0	24.1	17.7
(うち薬品費)	42,759	4.2	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	59,268	5.8	11.1	8.2
減価償却費	94,009	9.2	9.2	10.4
経費	361,511	35.4	23.2	29.9
(うち委託料)	165,826	16.2	11.3	12.9
研究研修費	4,263			
資産減耗費	2,164			
(2) 医業外費用	70,569			
(うち支払利息)	27,718	2.7	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-18,647			
純損益	-18,647			
累積欠損金	566,118			
経常収支比率	98.6		98.2	96.7
医業収支比率	79.8		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	24.3		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	31.6		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	24.3		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	74.7		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,505,006
1 固定資産	4,544,012
(1) 有形固定資産	4,505,938
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	38,074
2 流動資産	960,994
(1) 現金及び預金	514,690
(2) 未収金及び未収収益	428,177
(3) 貸倒引当金( )	637
(4) 貯蔵品	18,764
3 繰延資産	-
負債合計	5,407,456
1 固定負債	3,330,854
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,393,720
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	937,134
(7) リース債務	-
2 流動負債	739,162
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	319,682
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	133,646
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	284,748
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,337,440
(1) 長期前受金	4,439,150
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,101,710
資本合計	97,550
1 資本金	841,687
2 剰余金	-744,137
(1) 資本金剰余金	122,797
(2) 利益剰余金	-866,934
負債・資本合計	5,505,006
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	322,849	322,989
資本勘定繰入	95,636	99,123
計	418,485	422,112

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30 年度	-	-
29 年度	-	-
28 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度 )</b>				都道府県名	山口県
				市町村・組合名	周南市
				病院名	市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,935 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	7	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30 年度	29 年度	28 年度
一 般	150	84.1	84.1	84.1
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	-	-	-	-
計	150	84.1	84.1	84.1
平均在院日数(一般病床のみ)		18.6	19.1	18.4

設立団体の状況		
人口(人)	144,842	
決算規模(千円)	65,284,176	
標準財政規模(千円)	36,006,066	
財政力指数	0.79	
経常収支比率(%)	97.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.1
	将来負担比率(%)	90.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総 収 益	2,666,689			
1 経 常 収 益	2,666,689			
(1) 医 業 収 益	2,523,020			
入 院 収 益	1,645,481			
外 来 収 益	744,273			
診 療 収 入 計	2,389,754			
そ の 他 医 業 収 益	133,266			
(うち他会計負担金)	60,940			
(2) 医 業 外 収 益	143,669			
(うち国・都道府県補助金)	5,365			
(うち他会計補助・負担金)	132,057			
(うち長期前受金戻入)	1,582			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	2,854,773			
2 経 常 費 用	2,853,923			
(1) 医 業 費 用	2,785,283			
職 員 給 与 費	17,706	0.7	56.0	61.8
材 料 費	-	-	24.1	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.2
減 価 償 却 費	204,144	8.1	9.2	10.4
経 理 費	2,554,521	101.2	23.2	29.9
(うち委託料)	-	-	11.3	12.9
研 究 研 修 費	-	-	-	-
資 産 減 耗 費	8,912	-	-	-
(2) 医 業 外 費 用	68,640	-	-	-
(うち支払利息)	61,263	2.4	1.6	1.7
(3) 特 別 損 失	850	-	-	-
損 益				
経 常 損 益	-187,234			
純 損 益	-188,084			
累 積 欠 損 金	1,998,157			
経 常 収 支 比 率	93.4		98.2	96.7
医 業 収 支 比 率	90.6		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	7.2		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	7.6		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	7.2		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	86.7		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資 産 合 計	5,869,145
1 固 定 資 産	4,326,096
(1) 有 形 固 定 資 産	4,239,422
(2) 無 形 固 定 資 産	1,746
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	84,928
2 流 動 資 産	1,543,049
(1) 現 金 及 び 預 金	1,123,275
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	422,677
(3) 貸 倒 引 当 金 ( )	2,903
(4) 貯 蔵 品	-
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	3,549,496
1 固 定 負 債	2,949,856
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,949,856
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 ( 特 例 債 含 む )	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	-
(7) リ ー ス 債 務	-
2 流 動 負 債	568,140
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	411,495
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	1,354
(6) リ ー ス 債 務	-
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	155,291
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	31,500
(1) 長 期 前 受 金	42,028
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ( )	10,528
資 本 合 計	2,319,649
1 資 本 金	4,293,911
2 剰 余 金	-1,974,262
(1) 資 本 剰 余 金	23,895
(2) 利 益 剰 余 金	-1,998,157
負 債 ・ 資 本 合 計	5,869,145
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ( )	-
資本不足額(繰延収益控除後) ( )	-
備 考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.4
修正医業収支金額(千円)	2,462,080

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	192,997	192,997
資本勘定繰入	252,842	252,842
計	445,839	445,839

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30 年 度	-	-
29 年 度	-	-
28 年 度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	79.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度 )</b>				都道府県名	山口県
				市町村・組合名	山陽小野田市
				病院名	山陽小野田市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,362 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	14	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	215	83.6	84.7	82.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	215	83.6	84.7	82.9
平均在院日数（一般病床のみ）		15.2	14.5	15.3

設立団体の状況		
人口（人）	62,671	
決算規模（千円）	31,256,171	
標準財政規模（千円）	17,442,589	
財政力指数	0.62	
経常収支比率（%）	91.8	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	8.9
	将来負担比率（%）	74.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	87.4
修正医業収支金額（千円）	3,698,601

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,204,021			
1 経常収益	4,203,759			
(1) 医業収益	3,809,272			
入院収益	2,383,818			
外来収益	1,029,770			
診療収入計	3,413,588			
その他医業収益	395,684			
(うち他会計負担金)	110,671			
(2) 医業外収益	394,487			
(うち国・都道府県補助金)	3,327			
(うち他会計補助・負担金)	149,300			
(うち長期前受金戻入)	104,180			
(うち資本費繰入収益)	95,973			
(3) 特別利益	262			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,407,876			
2 経常費用	4,406,732			
(1) 医業費用	4,230,046			
職員給与費	2,263,637	59.4	56.0	59.3
材料費	769,154	20.2	24.1	19.3
(うち薬品費)	434,599	11.4	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	333,747	8.8	11.1	9.2
減価償却費	482,308	12.7	9.2	10.3
経費	700,750	18.4	23.2	27.6
(うち委託料)	491,624	12.9	11.3	12.3
研究研修費	9,077			
資産減耗費	5,120			
(2) 医業外費用	176,686			
(うち支払利息)	54,316	1.4	1.6	1.7
(3) 特別損失	1,144			
損益				
経常損益	-202,973			
純損益	-203,855			
累積欠損金	3,433,811			
経常収支比率	95.4		98.2	96.7
医業収支比率	90.1		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	6.2		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	6.8		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	6.2		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	89.5		86.0	83.4

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	6,010,082
1 固定資産	5,330,064
(1) 有形固定資産	5,103,723
(2) 無形固定資産	5,555
(3) 投資その他の資産	220,786
2 流動資産	680,018
(1) 現金及び預金	58,133
(2) 未収金及び未収収益	614,292
(3) 貸倒引当金（ ）	19,717
(4) 貯蔵品	27,310
3 繰延資産	-
負債合計	6,547,822
1 固定負債	5,372,251
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,020,191
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	132,000
(6) 引当金	1,220,060
(7) リース債務	-
2 流動負債	969,060
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	399,614
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	66,000
(5) 引当金	127,765
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	140,000
(8) 未払金及び未払費用	214,904
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	206,511
(1) 長期前受金	919,596
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	713,085
資本合計	-537,740
1 資本金	1,772,487
2 剰余金	-2,310,227
(1) 資本金剰余金	1,123,584
(2) 利益剰余金	-3,433,811
負債・資本合計	6,010,082
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	537,740
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	331,229
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	259,971	259,971
資本勘定繰入	94,303	190,276
計	354,274	450,247

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	90.1
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	山口県
	市町村・組合名	周防大島町
	病院名	周防大島町立東和病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	10,186 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救
診療科数	13	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	114	80.4	76.3	69.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	114	80.4	76.3	69.9
平均在院日数(一般病床のみ)		53.0	54.8	58.8

設立団体の状況		
人口(人)	17,199	
決算規模(千円)	14,580,794	
標準財政規模(千円)	8,949,693	
財政力指数	0.18	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	47.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	67.9
修正医業収支金額(千円)	1,171,762

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,274,141			
1 経常収益	2,269,474			
(1) 医業収益	1,256,595			
入院収益	736,992			
外来収益	383,840			
診療収入計	1,120,832			
その他医業収益	135,763			
(うち他会計負担金)	84,833			
(2) 医業外収益	1,012,879			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	431,501			
(うち長期前受金戻入)	25,493			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,667			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,610,674			
2 経常費用	2,572,357			
(1) 医業費用	1,725,378			
職員給与費	896,041	71.3	56.0	61.8
材料費	344,586	27.4	24.1	17.7
(うち薬品費)	223,226	17.8	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	94,838	7.5	11.1	8.2
減価償却費	214,072	17.0	9.2	10.4
経費	264,670	21.1	23.2	29.9
(うち委託料)	89,295	7.1	11.3	12.9
研究研修費	2,699			
資産減耗費	3,310			
(2) 医業外費用	846,979			
(うち支払利息)	54,140	4.3	1.6	1.7
(3) 特別損失	38,317			
損益				
経常損益	-302,883			
純損益	-336,533			
累積欠損金	1,558,912			
経常収支比率	88.2		98.2	96.7
医業収支比率	72.8		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	22.8		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	41.1		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	22.7		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	68.2		86.0	80.7

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,316,444
1 固定資産	14,286,130
(1) 有形固定資産	10,497,905
(2) 無形固定資産	1,759
(3) 投資その他の資産	3,786,466
2 流動資産	1,030,314
(1) 現金及び預金	475,270
(2) 未収金及び未収収益	519,575
(3) 貸倒引当金( )	5,097
(4) 貯蔵品	37,026
3 繰延資産	-
負債合計	11,828,812
1 固定負債	8,988,628
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,525,742
(2) その他の企業債	701,703
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,761,183
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,206,682
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	702,434
(2) その他の企業債	57,048
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	177,456
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	241,341
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,633,502
(1) 長期前受金	2,381,194
(2) 長期前受金収益化累計額( )	747,692
資本合計	3,487,632
1 資本金	5,582,014
2 剰余金	-2,094,382
(1) 資本金剰余金	91,624
(2) 利益剰余金	-2,186,006
負債・資本合計	15,316,444
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	561,469	516,334
資本勘定繰入	156,518	-
計	717,987	516,334

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	70.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	172,137
地財法上の資金不足比率(%)	4.9

備考:  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	山口県
				市町村・組合名	周防大島町
				病院名	周防大島町立橋病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,396 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救		
診療科数	8	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	36	77.0	84.5	85.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	36	77.0	84.5	85.0
平均在院日数（一般病床のみ）		61.7	64.3	67.8

設立団体の状況		
人口（人）	17,199	
決算規模（千円）	14,580,794	
標準財政規模（千円）	8,949,693	
財政力指数	0.18	
経常収支比率（%）	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	11.4
	将来負担比率（%）	47.0

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	548,238			
1 経常収益	547,469			
(1) 医業収益	375,872			
入院収益	177,682			
外来収益	140,295			
診療収入計	317,977			
その他医業収益	57,895			
(うち他会計負担金)	42,487			
(2) 医業外収益	171,597			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	158,523			
(うち長期前受金戻入)	4,964			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	769			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	732,199			
2 経常費用	727,215			
(1) 医業費用	695,106			
職員給与費	376,368	100.1	56.0	81.3
材料費	77,123	20.5	24.1	14.4
(うち薬品費)	51,381	13.7	12.6	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,742	6.8	11.1	5.1
減価償却費	72,210	19.2	9.2	13.4
経費	166,859	44.4	23.2	47.5
(うち委託料)	57,254	15.2	11.3	20.0
研究研修費	1,141			
資産減耗費	1,405			
(2) 医業外費用	32,109			
(うち支払利息)	16,370	4.4	1.6	1.4
(3) 特別損失	4,984			
損益				
経常損益	-179,746			
純損益	-183,961			
累積欠損金	482,294			
経常収支比率	75.3		98.2	96.3
医業収支比率	54.1		88.3	63.4
他会計繰入金対経常収益比率	36.7		12.5	32.8
他会計繰入金対医業収益比率	53.5		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	36.7		12.5	33.3
実質収益対経常費用比率	47.6		86.0	64.8

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	15,316,444
1 固定資産	14,286,130
(1) 有形固定資産	10,497,905
(2) 無形固定資産	1,759
(3) 投資その他の資産	3,786,466
2 流動資産	1,030,314
(1) 現金及び預金	475,270
(2) 未収金及び未収収益	519,575
(3) 貸倒引当金（ ）	5,097
(4) 貯蔵品	37,026
3 繰延資産	-
負債合計	11,828,812
1 固定負債	8,988,628
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,525,742
(2) その他の企業債	701,703
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,761,183
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,206,682
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	702,434
(2) その他の企業債	57,048
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	177,456
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	241,341
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,633,502
(1) 長期前受金	2,381,194
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	747,692
資本合計	3,487,632
1 資本金	5,582,014
2 剰余金	-2,094,382
(1) 資本金剰余金	91,624
(2) 利益剰余金	-2,186,006
負債・資本合計	15,316,444
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	48.0
修正医業収支金額（千円）	333,385

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	368,760	201,010
資本勘定繰入	57,235	-
計	425,995	201,010

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	70.5
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	172,137
地財法上の資金不足比率（%）	4.9

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	山口県
	市町村・組合名	周防大島町
	病院名	周防大島町立大島病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	10,109 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救
診療科数	11	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	39	79.1	83.4	83.0
療養	60	74.1	78.7	78.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	76.1	80.6	80.4
平均在院日数(一般病床のみ)		16.3	15.6	14.8

設立団体の状況		
人口(人)	17,199	
決算規模(千円)	14,580,794	
標準財政規模(千円)	8,949,693	
財政力指数	0.18	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	47.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.4
修正医業収支金額(千円)	1,325,654

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,044,757			
1 経常収益	2,041,525			
(1) 医業収益	1,467,683			
入院収益	704,732			
外来収益	578,282			
診療収入計	1,283,014			
その他医業収益	184,669			
(うち他会計負担金)	142,029			
(2) 医業外収益	573,842			
(うち国・都道府県補助金)	700			
(うち他会計補助・負担金)	388,599			
(うち長期前受金戻入)	30,867			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,232			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,115,656			
2 経常費用	2,101,581			
(1) 医業費用	1,806,626			
職員給与費	912,779	62.2	56.0	71.8
材料費	377,859	25.7	24.1	16.5
(うち薬品費)	276,550	18.8	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	83,176	5.7	11.1	5.6
減価償却費	148,897	10.1	9.2	12.2
経費	358,715	24.4	23.2	31.2
(うち委託料)	109,203	7.4	11.3	12.3
研究研修費	6,392			
資産減耗費	1,984			
(2) 医業外費用	294,955			
(うち支払利息)	51,692	3.5	1.6	1.9
(3) 特別損失	14,075			
損益				
経常損益	-60,056			
純損益	-70,899			
累積欠損金	144,800			
経常収支比率	97.1		98.2	97.1
医業収支比率	81.2		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	26.0		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	36.2		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	26.0		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	71.9		86.0	74.9

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,316,444
1 固定資産	14,286,130
(1) 有形固定資産	10,497,905
(2) 無形固定資産	1,759
(3) 投資その他の資産	3,786,466
2 流動資産	1,030,314
(1) 現金及び預金	475,270
(2) 未収金及び未収収益	519,575
(3) 貸倒引当金( )	5,097
(4) 貯蔵品	37,026
3 繰延資産	-
負債合計	11,828,812
1 固定負債	8,988,628
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,525,742
(2) その他の企業債	701,703
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,761,183
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,206,682
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	702,434
(2) その他の企業債	57,048
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	177,456
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	241,341
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,633,502
(1) 長期前受金	2,381,194
(2) 長期前受金収益化累計額( )	747,692
資本合計	3,487,632
1 資本金	5,582,014
2 剰余金	-2,094,382
(1) 資本金剰余金	91,624
(2) 利益剰余金	-2,186,006
負債・資本合計	15,316,444
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	606,952	530,628
資本勘定繰入	146,243	-
計	753,195	530,628

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	70.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	172,137
地財法上の資金不足比率(%)	4.9

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。